

住宅改修が必要な理由書(P1)

記入例

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	年齢	72 歳	生年月日	明治 大正 3年 10月 1日 昭和	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	札幌 花子	要介護認定 (該当に○)	要支援	要介護			
	住所	札幌市中央区北1条西2丁目1番1号						

作成者	現地確認日	平成18年 4月10日	作成日	平成18年 4月11日
	所属事業所	居宅介護支援事業所〇〇〇		
	資格	<small>(作成者が介護支援専門員でないとき)</small>		
	氏名	〇 〇 〇 〇		
	連絡先	011-〇〇〇-〇〇〇〇		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄	
	氏名			

＜総合的状況＞

利用者の身体状況	福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定	改修前	改修後
		<p>右大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術後。 平成16年6月に廊下で転倒し入院。人工骨頭置換術後、6月30日に退院。 室内は杖でゆっくりではあるが歩行可能。ただし見守りが必要。屋外は車いすを使用。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
<p>骨折前より長男夫婦と同居しており、排泄と入浴の介助については主に長男の妻が行っている。 日中は、本人しかいない場合もある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<p>長男の妻の介助と見守りにより何とか生活できているが、生活動作や家事(調理)なども含め自分でできることはしていきたい。 できることは自分で行っていきたいとの思いを支援していく。 家屋が古く段差が多いため、住宅改修を行い、安全に生活できるようにしていく。 玄関にはすでに手すりや踏み台があり、一人で上がりかまちの昇降ができるので、今回は排泄と入浴動作、調理動作について改善したい。 できればお風呂には毎日入りたい。</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>住宅改修により利用者等は日常生活をどう変えたいか</p>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	